

第59期

株主の皆様へ

# 株主通信 (中間報告)

2022年1月1日 ▶ 2022年6月30日



フジカブラインドグループ

富士変速機株式会社

証券コード：6295

## 【お知らせ】

2023年3月より招集通知の電子提供制度が適用され、本年9月1日より「書面交付請求」の受付が開始されております。

ただし当社の次回第59期定時株主総会（2023年3月開催予定）につきましては、移行期であることを踏まえ、「書面交付請求」の有無にかかわらず、従前と同様の招集通知をお届けする予定としております。

# 環境調和型企业をめざして お客様の理想をカタチに

富士変速機の製品は、暮らしのどこかでつながっています。



## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2022年6月30日をもって第59期（2022年1月1日から2022年12月31日まで）上半期（第2四半期）が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年9月



代表取締役社長

山本 浩司

## 企業理念

我社は顧客の視点に立ち、動力伝導技術をコアコンピタンス事業とし、常に新技術を深究し、顧客の繁栄と社会の発展に貢献することを目的とする。

### 当第2四半期累計期間の経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に一服感が見られ、行動制限緩和にともなう経済活動正常化が期待される一方で、ウクライナ情勢の長期化による各種原材料費の更なる高騰、中国沿岸部における新型コロナウイルス感染拡大による資材調達の不安定等、不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、差別化戦略に基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体

制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,456百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は311百万円（前年同期比60.7%増）、経常利益は327百万円（前年同期比55.8%増）、四半期純利益は222百万円（前年同期比58.0%増）となりました。

### 通期業績見通し

通期の業績予想につきましては、上・下期の売上バランスや材料高騰等を踏まえ期初の計画通り、売上高7,440百万円、営業利益545百万円、経常利益565百万円、当期純利益390百万円を見込んでおります。

### 配当について

当期の中間配当金につきましては、経営体質の強化等を総合的に勘案の上、安定配当の方針に基づき1株当たり3円を実施させていただきます。また、期末配当金についても、中間配当金と同様に1株当たり3円を予定しており、これにより年間配当金は、1株当たり合計6円となる見込みであります。

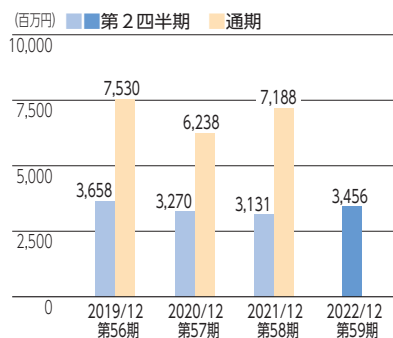
## 当第2四半期累計期間の概要

**売上高**  
**3,456**百万円   
 (前年同期比 10.4%増)

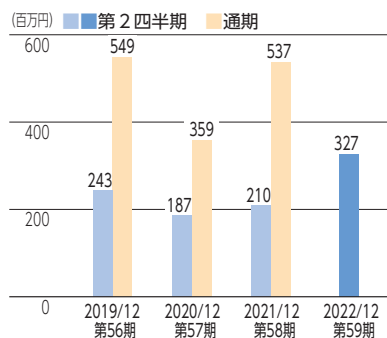
**経常利益**  
**327**百万円   
 (前年同期比 55.8%増)

**四半期純利益**  
**222**百万円   
 (前年同期比 58.0%増)

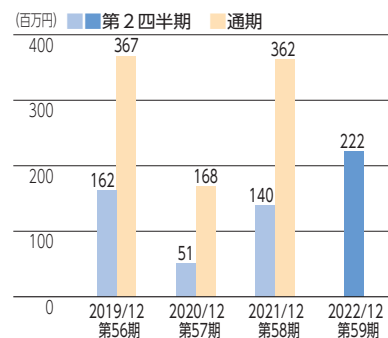
### 売上高



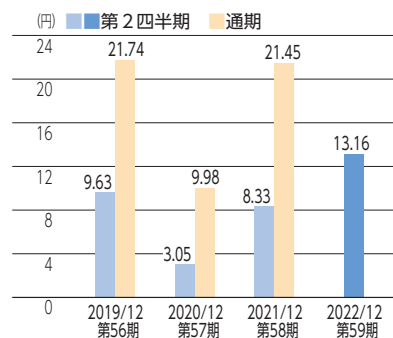
### 経常利益



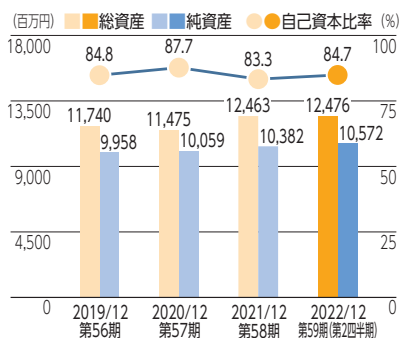
### 四半期 (当期) 純利益



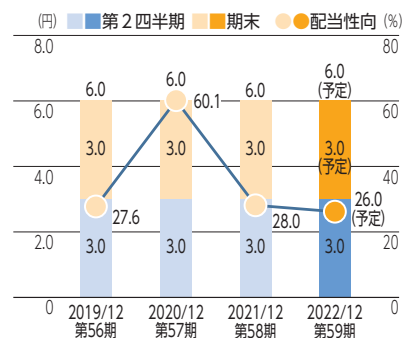
### 1株当たり四半期 (当期) 純利益



### 総資産・純資産/自己資本比率

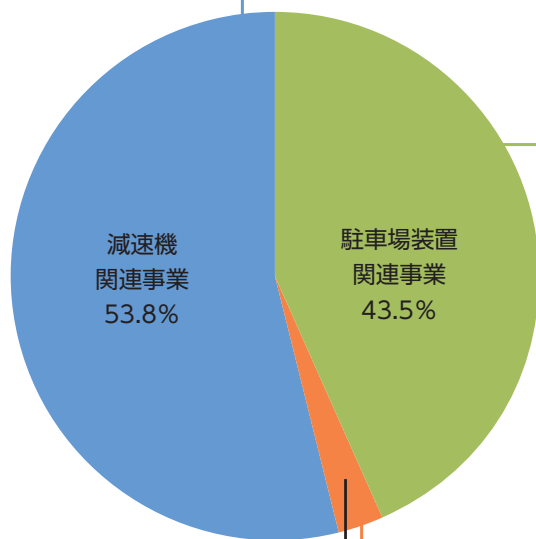


### 1株当たりの配当金の推移/配当性向



# セグメント別の概況

事業別売上高構成比



## 減速機関連事業

売上高  
**1,858**百万円  
(前年同期比 8.7%増)

《主要製品》  
定番減速機  
(VX・VCシリーズ)  
個別減速機  
シャッター用駆動装置  
消防用非常装置  
(ジェットセイバー)



## 駐車場装置関連事業

売上高  
**1,502**百万円  
(前年同期比 13.7%増)

《主要製品》  
機械式立体駐車場  
(パズルタワー)  
(スーパーパズルGS、LB)  
(ペアパーク、アペルト)



## 室内外装品関連事業

売上高  
**95**百万円  
(前年同期比 4.8%減)

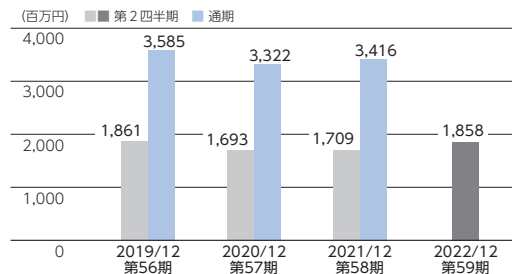
《主要製品》  
可動間仕切  
(スライディングドア)  
パネルルーバー



## 各種産業用減速機の受注が堅調に推移いたしました

企業の収益改善等により設備投資動向に持ち直しの動きがみられる中、定番品に加え無人搬送台車駆動用減速機など、当社が得意とする個別製品をはじめとした、各種産業用減速機の受注が堅調に推移したことにより、売上高は1,858百万円（前年同期比8.7%増）となりました。営業利益につきましては、材料高騰の影響もありますが、売上高の増加により150百万円（前年同期比19.3%増）となりました。

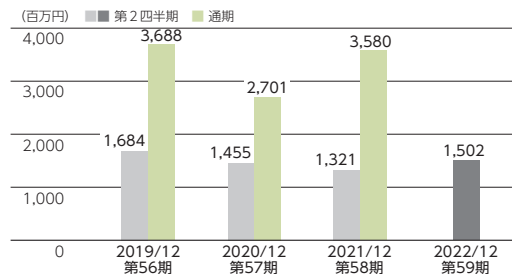
### 売上高



## 改造改修案件の受注が堅調に推移いたしました

新築工事については一部工期の前倒しがあった他、改造改修案件の受注が堅調に推移したことで、売上高は1,502百万円（前年同期比13.7%増）となりました。営業利益につきましては、主に売上高の増加に伴い、171百万円（前年同期比116.8%増）となりました。

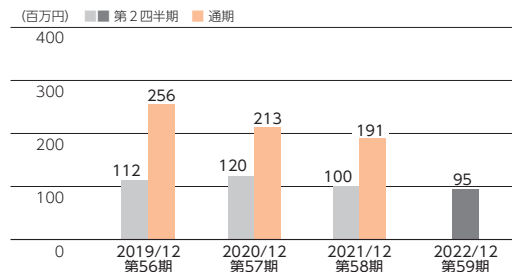
### 売上高



## 品質管理の徹底と生産性向上に努めました

品質管理の徹底と生産性向上および継続的な原価低減に取り組みましたが、売上高は95百万円（前年同期比4.8%減）、営業損益につきましては10百万円の損失（前年同期は11百万円の損失）となりました。

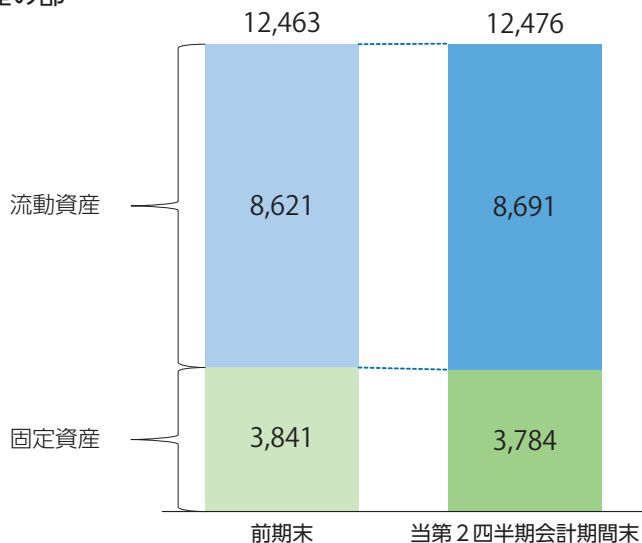
### 売上高



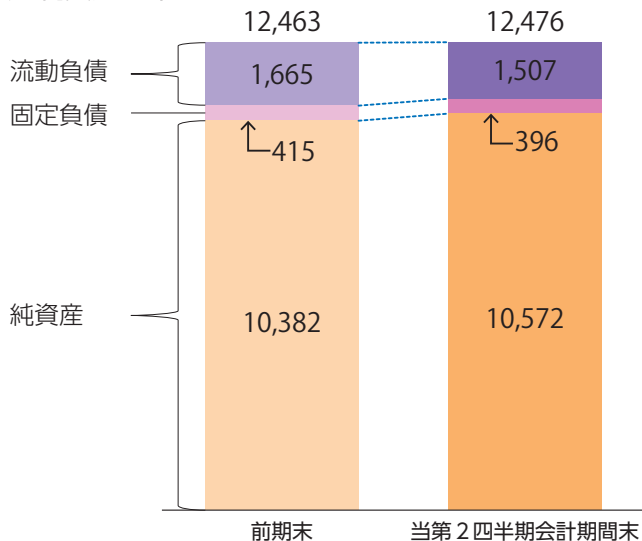
## 第2四半期貸借対照表

(単位：百万円)

### 資産の部



### 負債・純資産の部



### 1 資産

流動資産は、前期末に比べ70百万円増加し8,691百万円となりました。

これは、受取手形、売掛金及び契約資産等が減少した一方で、現金及び預金が増加したことなどが主な要因です。

固定資産は、前期末に比べ57百万円減少し3,784百万円となりました。

これは、保有株式の株価上昇等により投資有価証券が増加した一方で、減価償却等により有形固定資産が減少したことなどが主な要因です。

### 2 負債

流動負債は、前期末に比べ158百万円減少し1,507百万円となりました。

これは、未払法人税等が減少したことなどが主な要因です。

固定負債は、前期末に比べ19百万円減少し396百万円となりました。

これは、退職給付引当金が増加した一方で、退職給付引当金が減少したことなどが主な要因です。

### 3 純資産

純資産は、前期末に比べ190百万円増加し10,572百万円となりました。

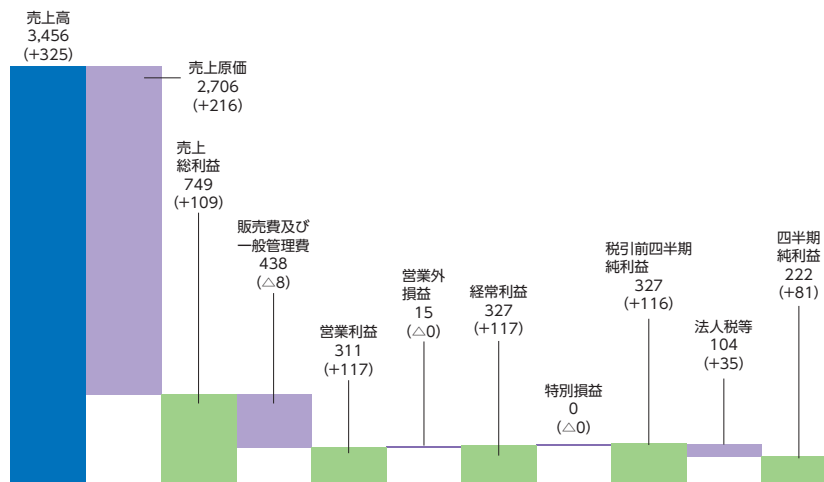
これは、利益剰余金が増加したことなどが主な要因です。

この結果、自己資本比率は前期末に比べ1.4ポイント増加し84.7%となりました。



## 第2四半期損益計算書

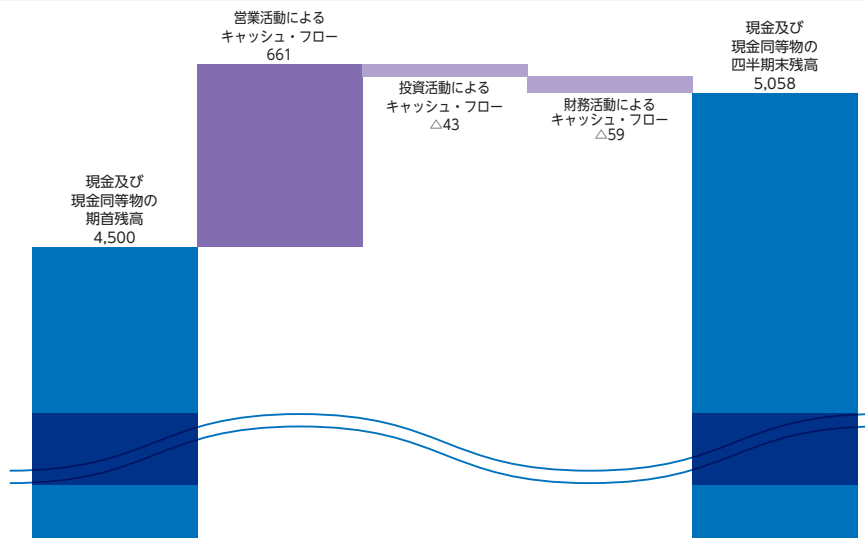
(単位：百万円)



※ 括弧内は対前年同期比

## 第2四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)



※ 百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

社名	富士変速機株式会社
英文社名	FUJI HENSOKUKI CO.,LTD.
本社	岐阜県岐阜市中洲町18 電話 (058) 271-6521 (代表)
創業	1947年4月
設立	1965年1月
資本金	25億750万円
岐阜県知事許可	建築工事業 (特-2) 第10684号 機械器具設置工事業 (特-2) 第10684号 電気工事業 (般-2) 第10684号
上場取引所	名古屋証券取引所 メイン市場
証券コード	6295
従業員数	230名 (男性205名 女性25名)

## 主要な事業所

美濃工場	岐阜県美濃市極楽寺963-1
テクノパーク工場	岐阜県美濃市楓台7
東京支店	東京都新宿区西新宿4-15-3

## 取締役

代表取締役社長	山本 浩司
常務取締役	市原 英孝
取締役	蓮井 隆之
取締役	山田 昭広
取締役	佐野 通彦
取締役	前田 弘司
取締役	佐藤 宏之
取締役	江波戸 武信

## 監査等委員である取締役

取締役	後藤 吉久
取締役	中丸 公之
取締役	和田 恵

(注) 取締役の中丸公之、和田恵の両氏は、社外取締役であります。

当社ホームページを  
ご覧ください

<https://www.fujihensokuki.co.jp/>



株主・投資家向けのIR情報から取扱い製品まで、会社の幅広い情報を提供しております。  
ぜひ一度、ご覧ください。

# 株式の状況 (2022年6月30日現在)

## 株式の状況

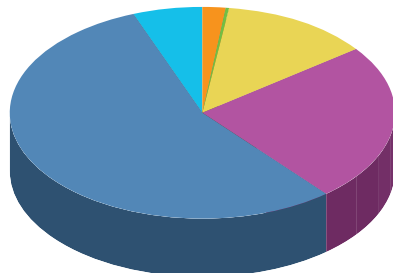
発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	17,955,000株
単元株式数	100株
株主数	1,516名

## 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
立川ブラインド工業株式会社	9,393	55.53
富士変速機取引先持株会	1,915	11.32
株式会社愛知銀行	526	3.11
株式会社十六銀行	454	2.68
岐阜信用金庫	437	2.58
MSIP CLIENT SECURITIES	377	2.22
富士変速機従持会	245	1.45
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	152	0.90
岐阜商工信用組合	141	0.83
第一生命保険株式会社	141	0.83

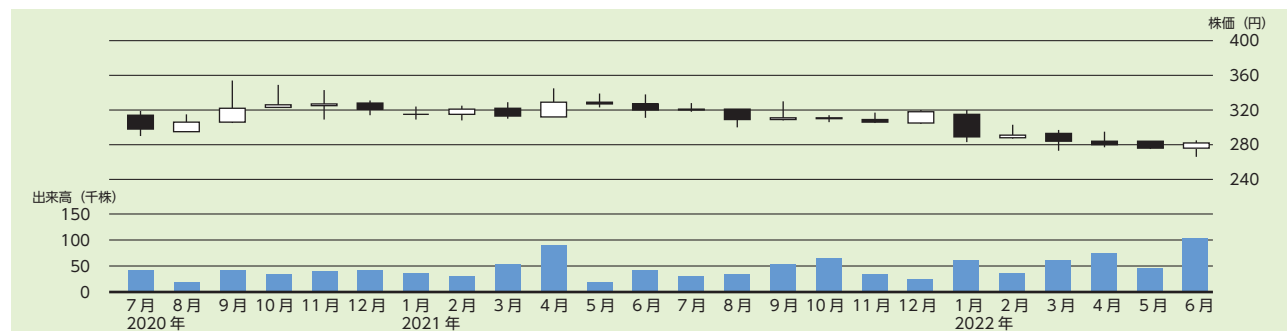
(注) 1. 当社は、自己株式1,040千株を保有しておりますが、当該株式に議決権がないため、上記大株主から除いております。  
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
2. 千株未満は切り捨てて表示しております。

## 所有者株式数別分布状況



外国人 5名 389,100株 2.17%	証券会社 12名 24,720株 0.14%
金融機関 14名 2,274,500株 12.67%	個人・その他 1,436名 4,328,819株 24.11%
その他国内法人 48名 9,897,617株 55.12%	自己名義株式 1名 1,040,244株 5.79%

## 株価および出来高の推移



# 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
剰余金配当基準日	期末配当：12月31日 中間配当：6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 <a href="https://www.fujihensokuki.co.jp/ir/">https://www.fujihensokuki.co.jp/ir/</a>
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

## ●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことが出来ます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収額の計算は証券会社等で行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。